

救急受診の目安【けいれん】

乳幼児でけいれんがよく起こるのは、高熱が出た時です。発熱と同時に起こるけいれんを熱性けいれんといいます。けいれんの症状が、体の一部のみけいれん、5分以内で終了、などの場合はほとんど後遺症を残しません。症状が重い場合は後遺症が残る可能性もあります。どちらにしてもけいれんが起きた場合は、症状が治まってもすぐに医療機関を受診してください。救急車を使った方がいいと思います。

また、それ以外（頭部外傷など）でけいれんを起こしても大変危険な状態です。すぐ医療機関を受診してください。

救急受診の目安

- 初めてけいれんを起こした場合（軽症でも）
- けいれんが長い（通常は5分以下）
- 発作後に朦朧としている。
- 続けてけいれんを起こす。

目安を記載しましたが、けいれんを起こした場合は基本的に医療機関を受診してください。ただ何度もけいれんを起こした経験があり、対処方法がよく理解できており、治療薬が手元にある場合のみ自宅にて様子を見てもらっても構いません。ただし十分な注意をしてください。

緊急の場合は、当院電話待ち受けでお知らせする電話番号におかけください。

小児科内科 堅田医院

078-871-6078（診療時間外は待ち受けで対応）

救急対応は

神戸こども初期急病センター 078-891-3499

<http://www.kobe-kodomoqq.jp/>